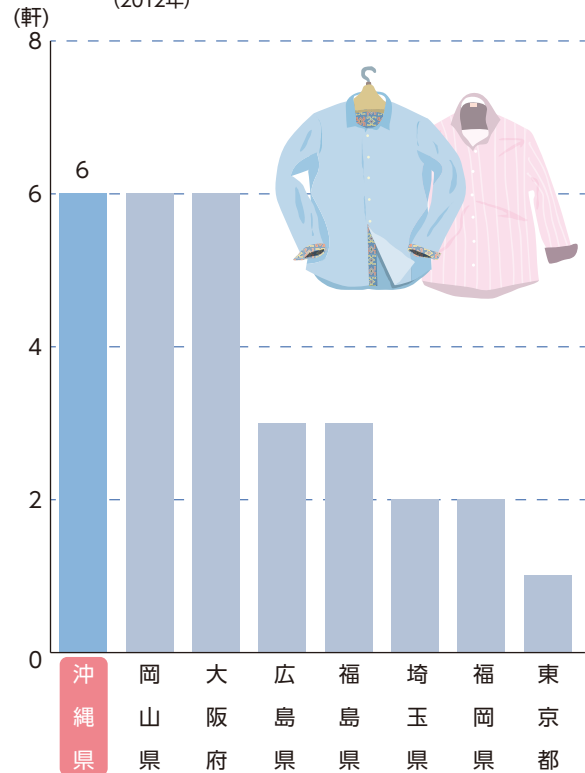


● 織物製カジュアルシャツの製造所数 (2012年)



6軒

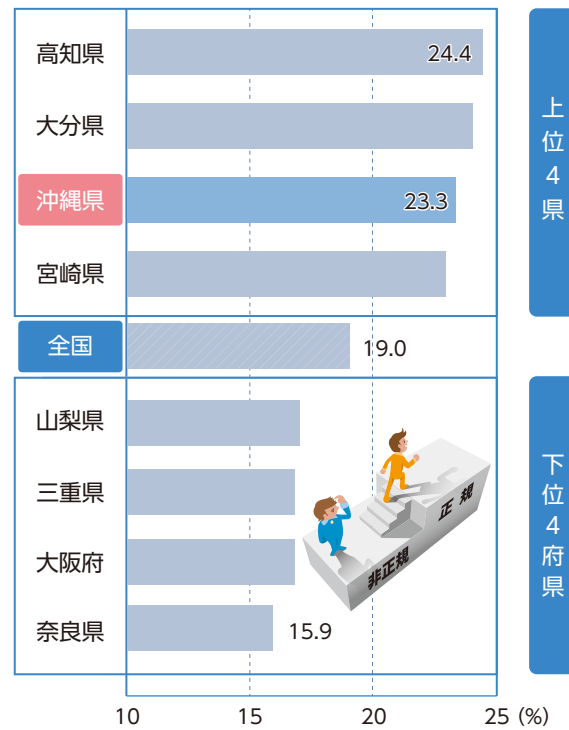
沖縄は伝統的染織物の宝庫。国指定の染織物は12品目あり、品目数は日本一だ。しかし、市場ニーズの変化や廉価な類似品流入などの問題もあり、新たな用途開発等が急がれているという。

総務省「2012年経済センサス」によると、沖縄県の織物製その他シャツ(カジュアルシャツ等)の製造所は6軒で、岡山や大阪と並び全国トップだ。また前回調査から製品出荷量は増加しており、出荷金額の伸び率も全国トップ。去年「かりゆしウェア」の生産枚数が初めて40万枚を突破した。沖縄発信のシャツである「かりゆしウェア」と「染織物」がうまく融合し、成果として表れてきているのではないだろうか。

今後も価格面における一層の努力と冠婚葬祭等のフォーマルシーン向けシャツ開発など、消費者が求める声を反映して、魅力的な商品を開発し続けてもらいたい。

(海邦総研・比嘉明彦)

● 非正規から正規雇用への転換割合 (2011年)



23.3%

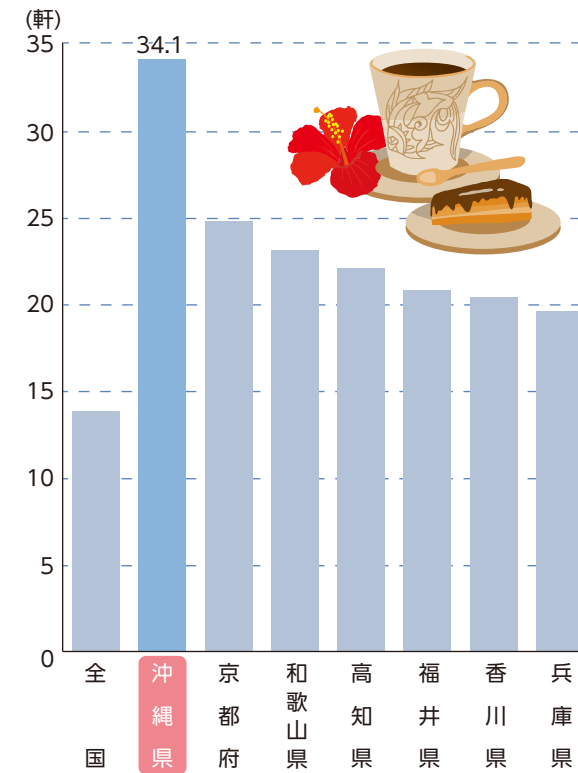
近年、非正規雇用で働く人の増加が問題視され、沖縄県内でも非正規の割合が高いとの情報をよく目にする。特に若年者が最初の就職で非正規雇用の仕事に就くと、その後も正規雇用への転職は難しいといわれる。

総務省「就業構造基本調査」で正規雇用への転換率(初職は非正規雇用だったが現在は正規雇用になった人の割合)をみると、沖縄県は23.3%で全国第3位となっている。決して高い割合ではないが、順位に注目すれば、沖縄県は非正規から正規雇用へ移るチャンスに比較的恵まれた地域といえそうだ。

正規雇用を望む方々には、中長期的なキャリアを築いてゆく意識と、いまの仕事に励みながら将来のために果敢にチャレンジする姿勢が重要であろう。良好な環境下で高い意識をもっていれば、チャンスもより巡ってくるはずだ。

(海邦総研・鮫島智行)

● 沖縄県内のカフェ店舗数 (2014年1月・人口10万人当たり)



34.1軒

南部の海沿いや北部の山道を走っていると、手作りの小さなカフェの看板をよく目にする。ロケーションの良いカフェでは、海や山を眺めながら、ゆっくりとコーヒーやお茶、手作りスイーツなどを楽しむことができる。

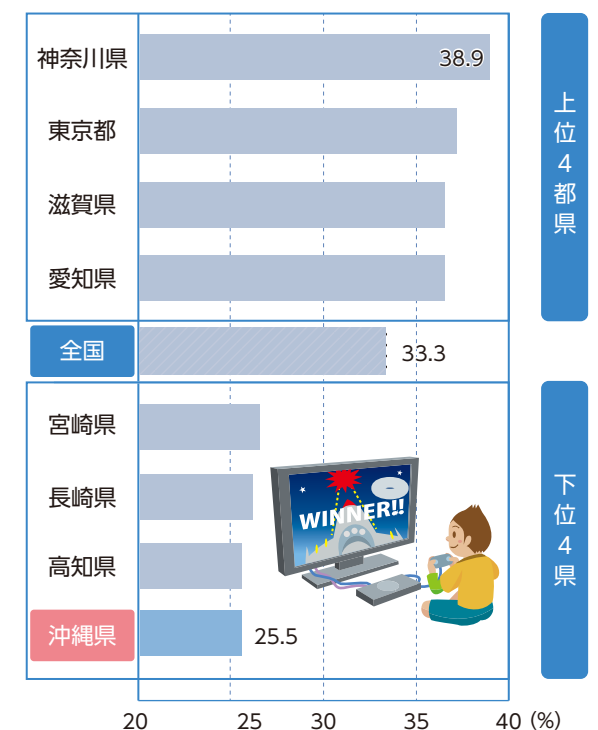
NTTタウンページ株式会社「iタウンページ」で沖縄県内にあるカフェを検索すると478軒がヒットする。これを人口10万人当たり換算すると34.1軒、全国で最も多い軒数だ。

北部地域では古民家を改装したカフェも多く、中部地域では外人住宅を改装したカフェもみられる。観光シーズンには、癒しの空間を求める観光客で平日でも満席になるケースもあるようだ。

仕事や勉強など、普段の生活の中でストレスがたまっていると感じた時は、自然の中にあるカフェでリフレッシュしてみたいか。

(海邦総研・宮平杏奈)

● コンピューターゲームで遊んだ人の割合 (2011年)



25.5%

「ファミコン」で子供時代を過ごした大人が社会を引っ張る時代となった現代。スマートフォンも普及し、いつでもどこでもコンピューターゲームを楽しめる環境になったが、沖縄ではゲームで遊ぶ人が意外に少ないようだ。

総務省「社会生活基本調査」によると、1年間にゲームで遊んだことのある人の割合は、沖縄県の場合25.5%。高知県と同率で最も低い水準となっている。所得水準の低い県が下位を占めている。一方で、沖縄県では、アウトドアを楽しむ人の割合が全国トップクラスとなっている。インドアはあまり向いていないという県民性も影響しているのかもしれない。

単なる遊びとみられがちなゲームだが、頭の体操や学習に役立つものもある。気分転換に有用なものもあるため、たまには子どもたちに遊び方を学んでもみるのもよいのではないか。

(海邦総研・瀬川孫秀)